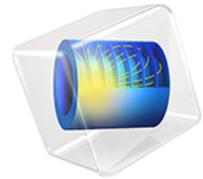


# COMSOL Multiphysics® クイックインストールガイド macOS®版

(Version 6.3)

COMSOL  
MULTIPHYSICS®



**KESCO**

計測エンジニアリングシステム株式会社



# はじめに

本ドキュメントはCOMSOL Multiphysics®のインストールに関する取扱説明書です。

前提として、お客様はCOMSOL Multiphysics®製品のセットアップファイルをCOMSOL社の COMSOL Access (<https://www.comsol.jp/access/login>) から入手していただくため、このウェブサイトでアカウントを作成する必要があります。詳細は下記URLをご覧ください。

- KESCO FAQ : COMSOL Access アカウント作成方法

<https://kesco.co.jp/support/3260/>

本ドキュメントが対応している COMSOL Multiphysics®のバージョンおよびプラットフォームは、以下の通りです。

- Version 6.3
- Apple® macOS® 12以降

上記以外のプラットフォーム (Windows®もしくはLinux®) のインストールに関しては下記URLをご覧ください。

- KESCO FAQ : COMSOL Multiphysics®6.3クイックインストールガイド (ウェブ版)

<https://kesco.co.jp/support/10884/>



# 目次

1 CPU固定シングルユーザライセンス (CPU) および利用者固定シングルユーザライセンス (NSL) のインストール	
1.1 PCへのCOMSOL Multiphysics®インストール	
1.1.1 macOS®マシンへのインストール	1
2 ネットワークライセンス (FNL)、クラスキットライセンス (CKL) のインストール	
2.1 ライセンスファイルおよびネットワーク環境の確認	10
2.2 ライセンスサーバマシンへのライセンスマネージャのインストール	
2.2.1 macOS®マシンへのインストール	11
2.3 ライセンスマネージャの設定、起動	
2.3.1 macOS®マシンでの起動	15
2.4 ライセンスサーバマシンでのファイアウォールの例外登録	
2.4.1 macOS®マシンでのファイアウォールの例外登録	16
2.5 ライセンスサーバ以外のマシンへのCOMSOL Multiphysics®インストール	17
3 トライアルライセンスのインストール	
3.1 PCへのCOMSOL Multiphysics®インストール	
3.1.1 macOS®マシンへのインストール	18
4 アンインストール、ライセンス変更、製品の追加/削除/復元	
4.1 アンインストール	
4.1.1 macOS®マシンでのアンインストール	23
4.2 ライセンスの変更	
4.2.1 macOS®マシンでのライセンス変更	27
4.3 製品の追加/削除/復元	
4.3.1 macOS®マシンでの製品の追加/削除/復元	30
～情報源の紹介～	35

ライセンスタイプ毎に、インストール手順と本書の該当箇所とを照合させたフローチャートを示します。  
 COMSOL Multiphysics®製品のセットアップファイルをダウンロードするにはCOMSOL社のCOMSOL Access  
 (<https://www.comsol.jp/access/login>)にてアカウントを作成する必要があります。詳細は下記URLをご覧ください。

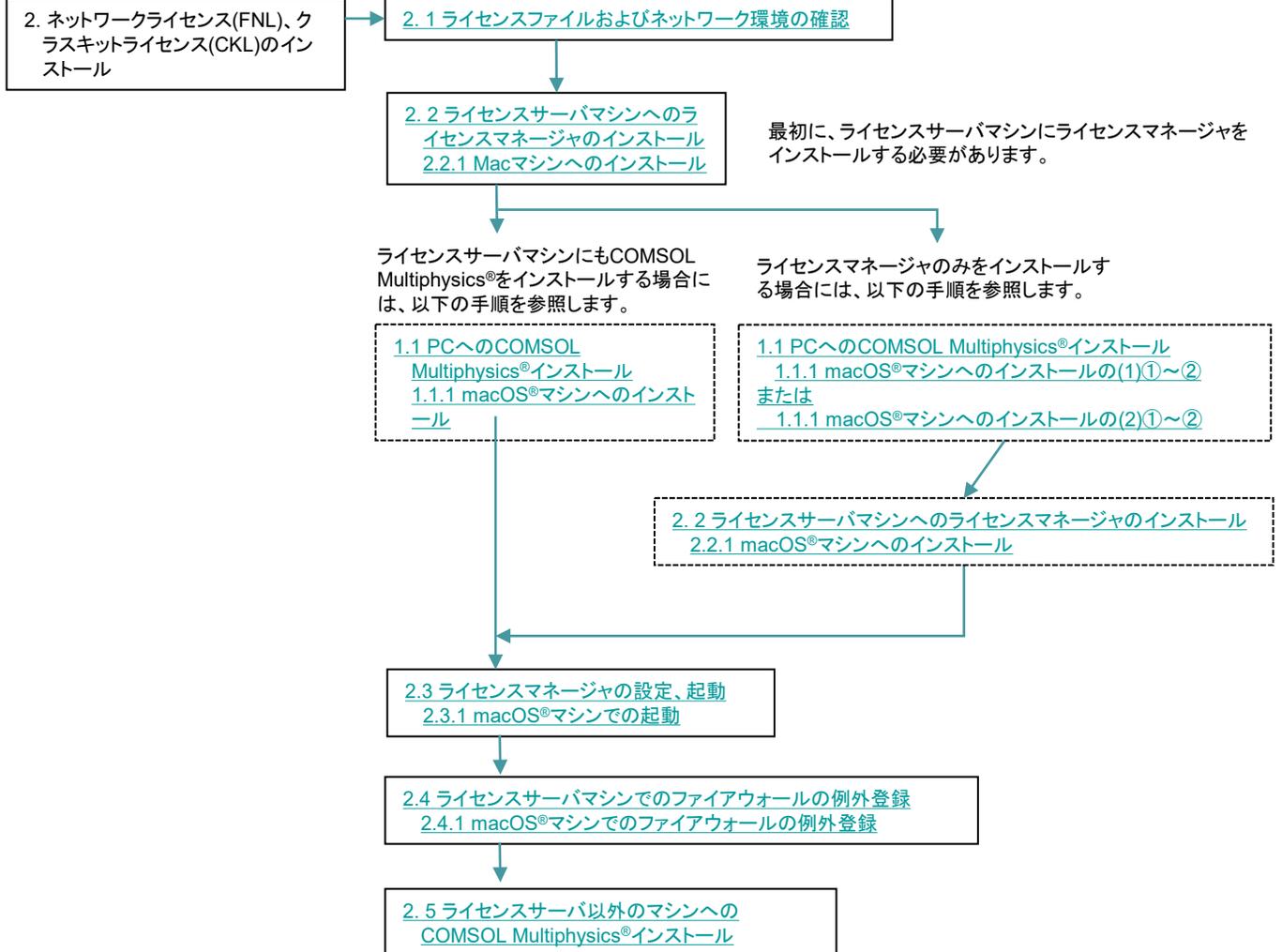
- ・COMSOL Access アカウント作成方法  
<https://kesco.co.jp/support/3260/>

## 【macOS®マシンの場合】

### ●CPU固定シングルユーザライセンス(CPU)、利用者固定シングルユーザライセンス(NSL)をインストールする場合



### ●ネットワークライセンス(FNL)、またはクラスキットライセンス(CKL)をインストールする場合



### ●トライアルライセンスをインストールする場合



# 1. CPU固定シングルユーザライセンス（CPU）および利用者固定シングルユーザライセンス（NSL）のインストール

## 1.1 PCへのCOMSOL Multiphysics®インストール

### 1.1.1 macOS®マシンへのインストール

#### (1) COMSOLのウェブサイトよりオンラインでインストールする場合

①ライセンスファイル発行時のメールに記載してある下記リンクより、インストーラ（dmgファイル）をダウンロードします。

<https://www.comsol.jp/product-download>

②dmgファイルを起動し、Finderの COMSOL 6.3 Installer.app をダブルクリックします。



図1.1-1 Finder画面

インストーラ初期画面が起動したら、次ページの③に進みます。

【参考】COMSOLの起動確認をします。グラフィックスボードやチップが古いとCOMSOL Desktop®(GUI)がうまく立ち上がらないことがあります。その場合は起動時のオプションとして、-3drend swを付けてください。

#### (2) DVDからインストールする場合

①root権限を持つアカウントでログインします。

②DVDの中のファイル名 setup をダブルクリックします（setup.exeファイルではありません）。

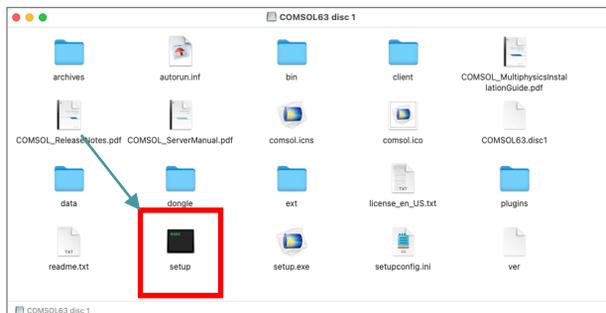


図1.1-2 Finder画面

インストーラ初期画面が起動したら、次ページの③に進みます。

【参考】COMSOLの起動確認をします。グラフィックスボードやチップが古いとCOMSOL Desktop®(GUI)がうまく立ち上がらないことがあります。その場合は起動時のオプションとして、-3drend swを付けてください。

# 1. CPU固定シングルユーザライセンス（CPU）および 利用者固定シングルユーザライセンス（NSL）のインストール

- ③ 表示されている言語設定画面で、下記操作を実行します。
- ・“日本語（Japanese）” ラジオボタンをオンにします。
  - ・[次へ >] ボタンをクリックします。
- ⇒ 次の画面へ移行します。

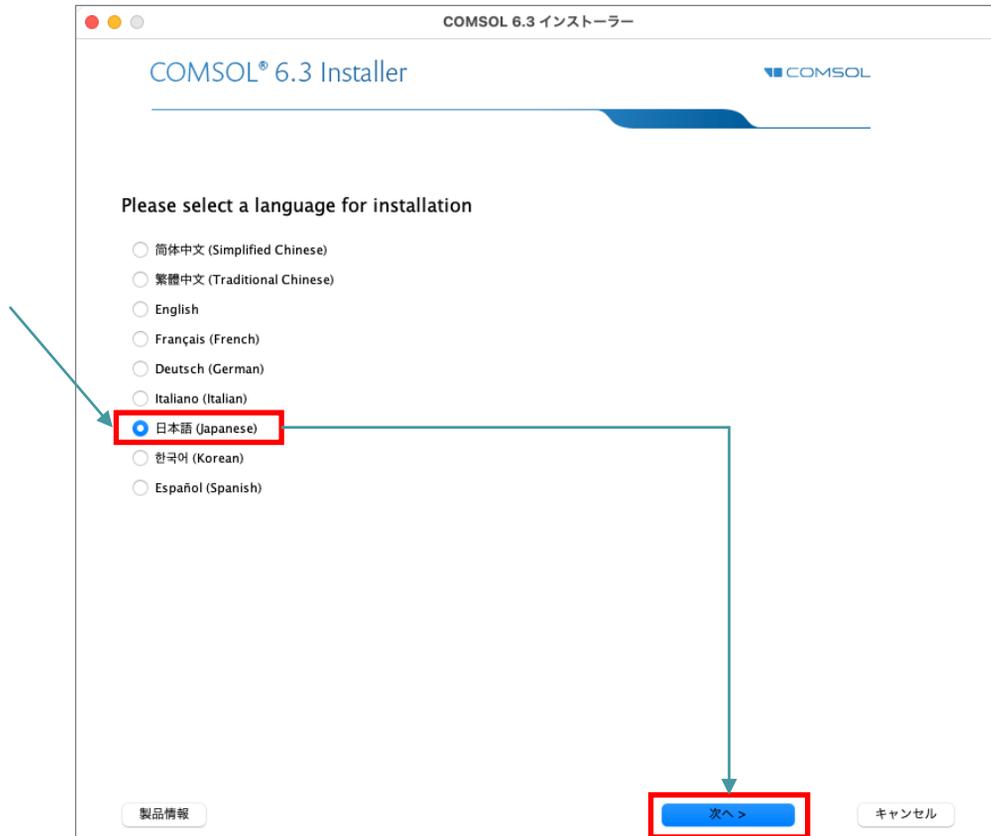


図1.1-3 言語設定画面

1. CPU固定シングルユーザライセンス（CPU）および  
利用者固定シングルユーザライセンス（NSL）のインストール

- ④メニュー画面で、下記操作を実行します。
- ・“新規COMSOL 6.3 インストール”のアイコンをクリックします。  
⇒次の画面へ移行します。



図1.1-4 メニュー画面

# 1. CPU固定シングルユーザライセンス（CPU）および 利用者固定シングルユーザライセンス（NSL）のインストール

⑤“ライセンス”画面で、下記操作を実行します。

- ・“私はこのライセンス契約の条項に同意し、これを受け入れることで他の全ての条項が拒否されることを理解し認めます” ラジオボタンをオンにします。
- ・“ライセンス書式”ドロップダウンリストから“ライセンスファイル”を選択します。
- ・[ブラウズ...]ボタンをクリックし、弊社から送付した license.datファイルを選択します。
- ・[次へ >]ボタンをクリックします。

⇒次の画面へ移行します。

もしこの段階でエラーが表示されましたら、弊社サポート窓口までご連絡ください。

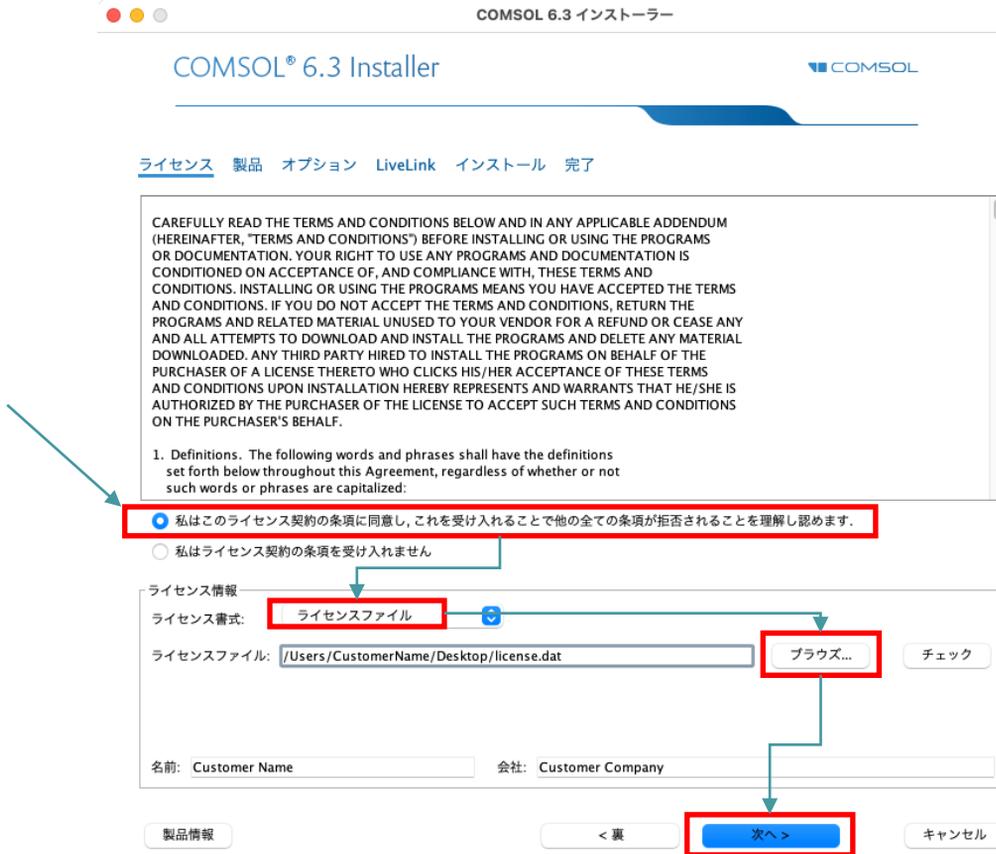


図1.1-5 “ライセンス”画面

# 1. CPU固定シングルユーザライセンス（CPU）および 利用者固定シングルユーザライセンス（NSL）のインストール

⑥“製品”画面で、下記操作を実行します。

- ・ご購入いただいたライセンスにもとづいてインストール可能なモジュールが表示されます。特に必要がないので、通常のクイック選択を含めてこのままにします。
  - ・“インストール先フォルダ”は初期設定では、“/Applications/COMSOL63/Multiphysics”が表示されます。必要に応じて [ブラウズ...] ボタンをクリックしてフォルダを変更してください。
  - ・[次へ >] ボタンをクリックします。
- ⇒ 次の画面へ移行します。

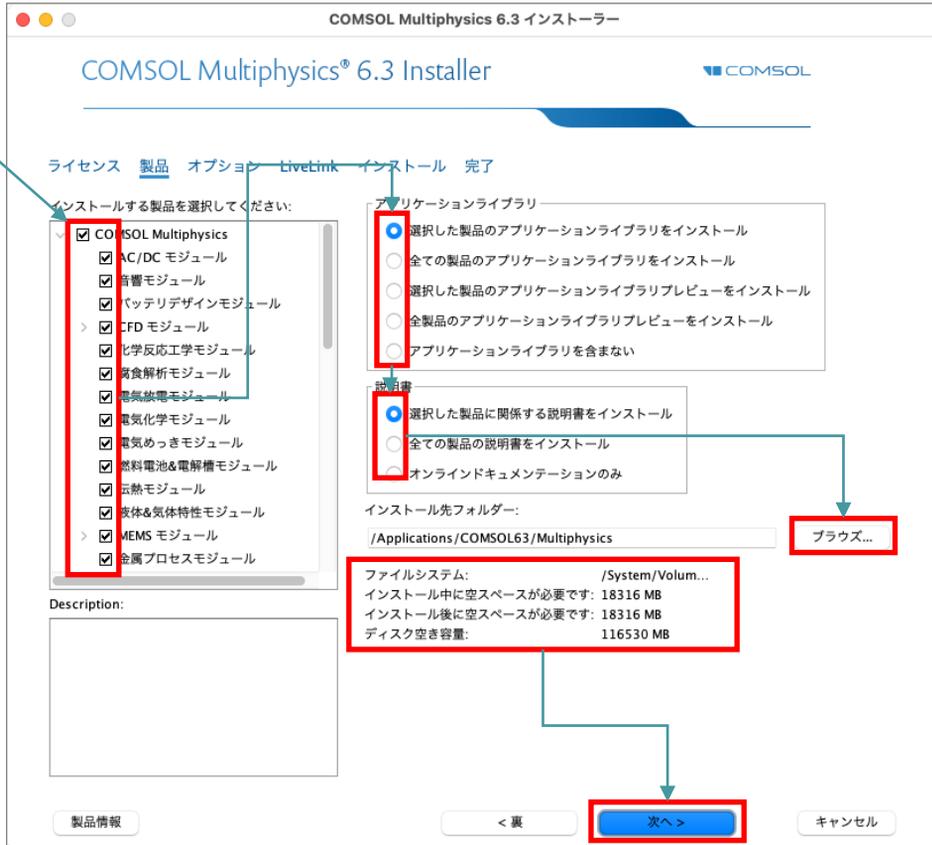


図1.1-6 “製品”画面

### 【注意】“インストール先フォルダ”

・“インストール先フォルダ”のパスに英数字以外の2バイト文字コードが含まれていると、インストールできない可能性があります。そのため2バイト文字コードが含まれないように、フォルダを変更してください。

・インストールに必要なディスク容量とインストール先ディスク空き容量が表示されます。

前者が後者を上回りますと、[次へ]をクリックした時にエラーが出て処理が継続できません。その際は“インストール先フォルダ”の [ブラウズ...] ボタンをクリックし、別ドライブのフォルダを選択してください。

# 1. CPU固定シングルユーザライセンス（CPU）および 利用者固定シングルユーザライセンス（NSL）のインストール

⑦ “オプション”画面で下記操作を実行します。

- ・Java™のランタイムインストールに関して、特に必要性がなければ初期設定のままにしておいてください。
  - ・[次へ >]ボタンをクリックします。
- ⇒ 次の画面へ移行します。



図1.1-7 “オプション”画面

# 1. CPU固定シングルユーザライセンス（CPU）および 利用者固定シングルユーザライセンス（NSL）のインストール

- ⑧ “LiveLink”画面で下記操作を実行します。
- ・LiveLink™は各製品のインストールフォルダをご購入ライセンスに応じて指定します。
  - ・LiveLink™製品をお持ちでない場合は、初期設定のままにしておいてください。
  - ・[次へ >]ボタンをクリックします。
- ⇒ 次の画面へ移行します。

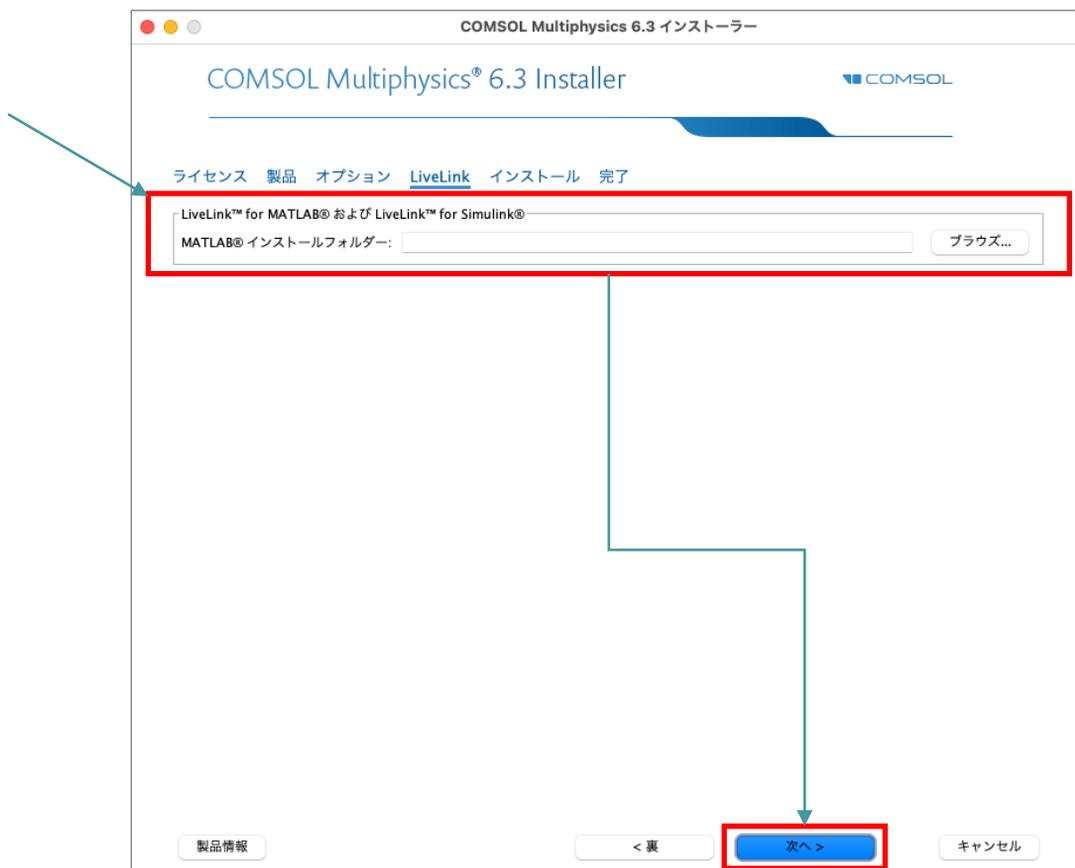


図1.1-8 “LiveLink”画面

# 1. CPU固定シングルユーザライセンス（CPU）および 利用者固定シングルユーザライセンス（NSL）のインストール

⑩ “インストール”画面で下記操作を実行します。

- ・ [インストール]ボタンをクリックします。

⇒インストールが開始します。

インストールが終了しますと、次の画面へ移行します。

【参考】オンラインインストーラによるインストールを実行し、ネットワークセキュリティのエラーが発生した場合、オフラインインストーラをお試し下さい。詳細につきましては下記リンクをご参照ください。

<https://kesco.co.jp/support/2548/>

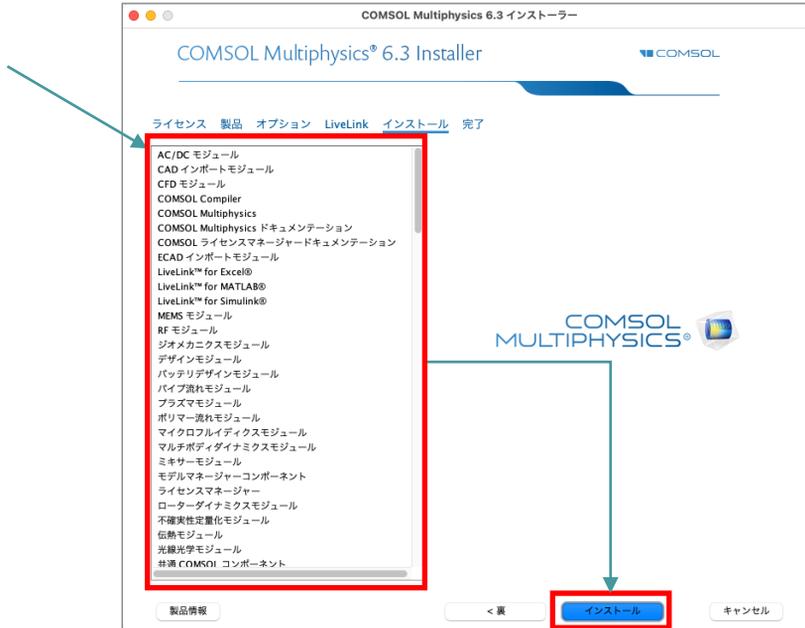


図1.1-10 “インストール”画面

# 1. CPU固定シングルユーザライセンス（CPU）および 利用者固定シングルユーザライセンス（NSL）のインストール

⑪ “完了”画面で、下記操作を実行します。

- ・インストール中に発生したワーニングやエラーを確認するため、「ログを見る」ボタンをクリックします。
  - ・ログに記載されている「WARNINGS」、「ERRORS」、「FATAL ERRORS」がゼロであることを確認します。
  - ・ログの[閉じる]ボタンをクリックした後、インストーラの[閉じる]ボタンをクリックします。
- ⇒“COMSOL 6.3 インストーラ” が閉じます。

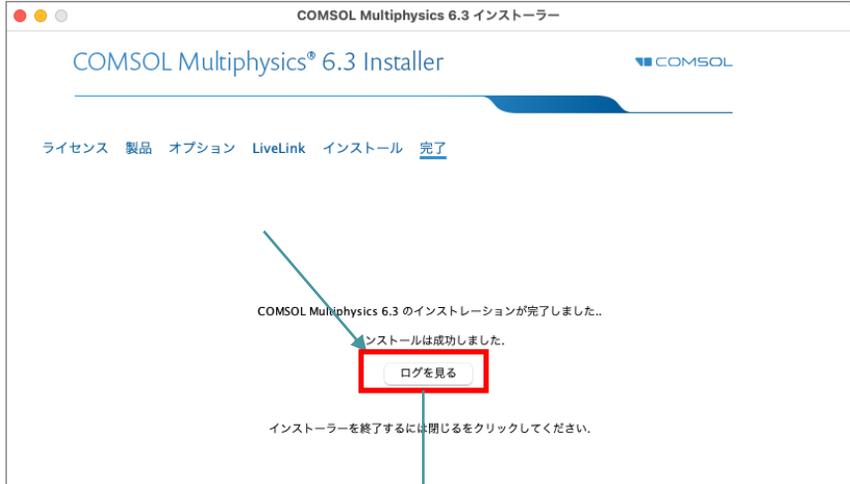


図1.1-11 “完了”画面

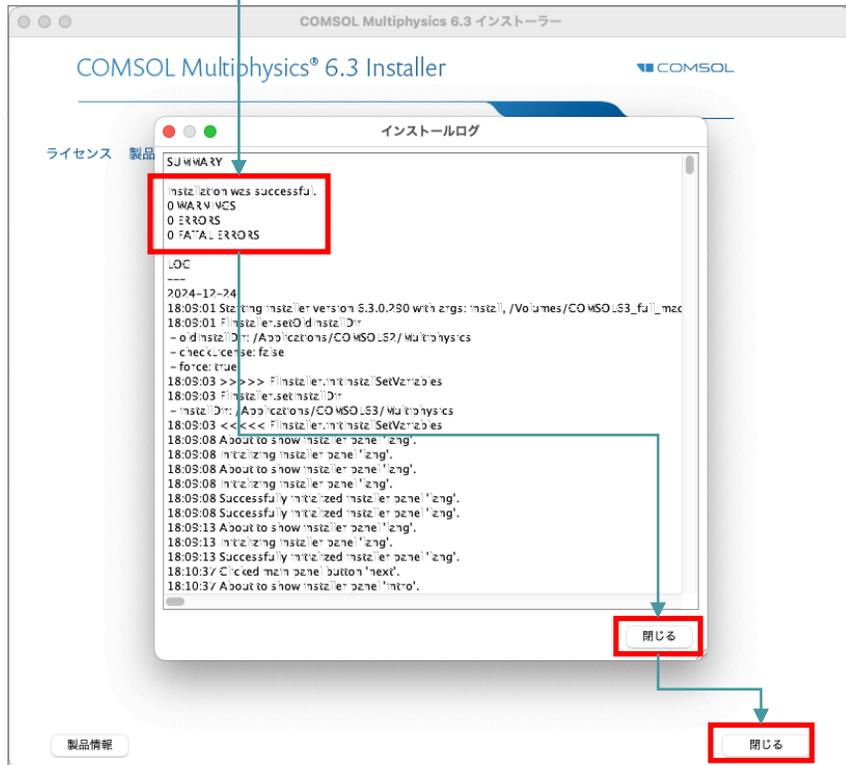


図1.1-12 “インストールログ”画面

## 2. ネットワークライセンス(FNL)、クラスキットライセンス(CKL)のインストール

### 2.1 ライセンスファイルおよびネットワーク環境の確認

ネットワークライセンス(以降FNL)やクラスキットライセンス(以降CKL)のように、ネットワーク上のリモートマシンをライセンスサーバとする場合は、このライセンスサーバマシンが他のマシンから認識できるようになっていないとはなりません。インストールに先立ち、ライセンスファイルおよびネットワーク環境の確認を行います。

#### (1) license.datの確認

弊社が送付している license.datの 5行目は以下のようになっています。

```
SERVER licserver 0123456789AB 1718
```

左から2番目がサーバマシン名 (またはサーバマシンのIPアドレス)です。ライセンス申請時にマシン名をご指定いただいた場合は、その名前がライセンスが発行されます。もしこれが正しい名前になっていない場合は修正してください。一方、事前のご指定がない場合は“localhost”でライセンスが発行されますので、正しいマシン名またはサーバマシンのIPアドレスに変更します。左から4番目がポート番号です。

#### (2) ネットワーク環境の確認

ネットワーク上でサーバマシンがIPアドレスおよびマシン名で認識できるようになっているかを確認します。

macOS®の場合はターミナルを起動し、

```
ping [サーバマシン名] または ping [サーバマシンのIPアドレス]
```

とキー入力してpingの送信に対してリプライがあるかどうかを確認します。無効なIPアドレス/マシン名に対してはリプライはありません。もし無効の場合はリプライが返ってくるようにネットワーク環境を修正してください。※ネットワークのDNSにサーバマシン名が登録されていない場合は、サーバマシンのIPアドレスのみ有効です。

またライセンスサーバ以外のネットワーク各マシンからCOMSOL Multiphysics®を起動しようとする際に、ライセンスエラーが表示されて起動しない場合などは、「[2.4 ライセンスサーバマシンでのファイアウォールの例外登録](#)」などを参考にして対応してください。

※macOS®のファイアウォールの例外設定と共に、セキュリティソフトもファイアウォールの例外設定が必要です。

## 2.2 ライセンスサーバマシンへのライセンスマネージャのインストール

COMSOLのライセンスタイプFNLとCKLではライセンスマネージャのインストールと起動が必要になります。ライセンスマネージャと通信することでCOMSOLが起動できるようになります。

### 2.2.1 macOS<sup>®</sup>マシンへのインストール

①ライセンスマネージャを起動させるライセンスサーバマシンの場合も、COMSOLをインストールする手順は、「[1.1 macOS<sup>®</sup>マシンへのインストール](#)」の①～⑪と全く同じです。そちらに従ってインストールを完了させ、「[2.3.1 macOS<sup>®</sup>マシンでの起動](#)」に進んでください。

②ライセンスサーバマシンにライセンスマネージャのみをインストールする場合は、「[1.1.1 macOS<sup>®</sup>マシンへのインストール](#)」の①～⑤までを行い、下記③以降へ進んでください。

③“製品”画面で下記操作を実行します。

- ・“COMSOL Multiphysics”チェックボックスをオフにします。  
この結果、インストール対象はライセンスマネージャに限定されます。
- ・[次へ >]ボタンをクリックします。  
⇒次の画面へ移行します。

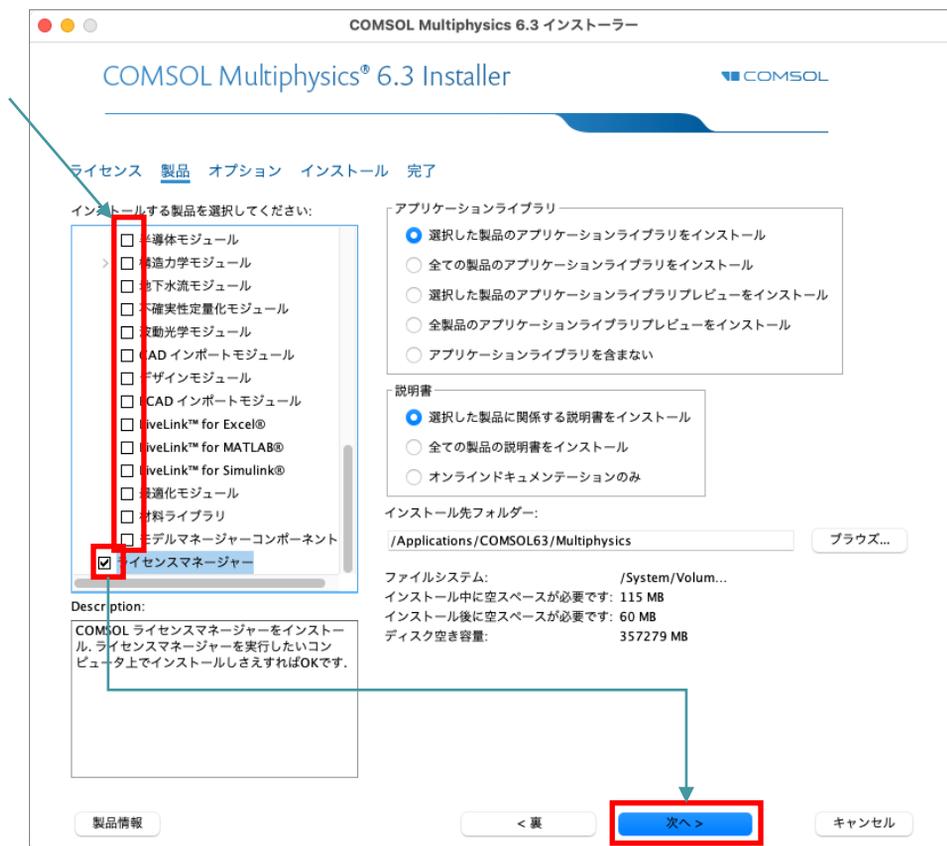


図2.2-1 “製品”画面

④ “オプション”画面で、下記操作を実行します。

・必要に応じて[アップデート]に✓マークを付けます。(チェックを付けるのを推奨)

・[次へ >]ボタンをクリックします。

⇒次の画面へ移行します。

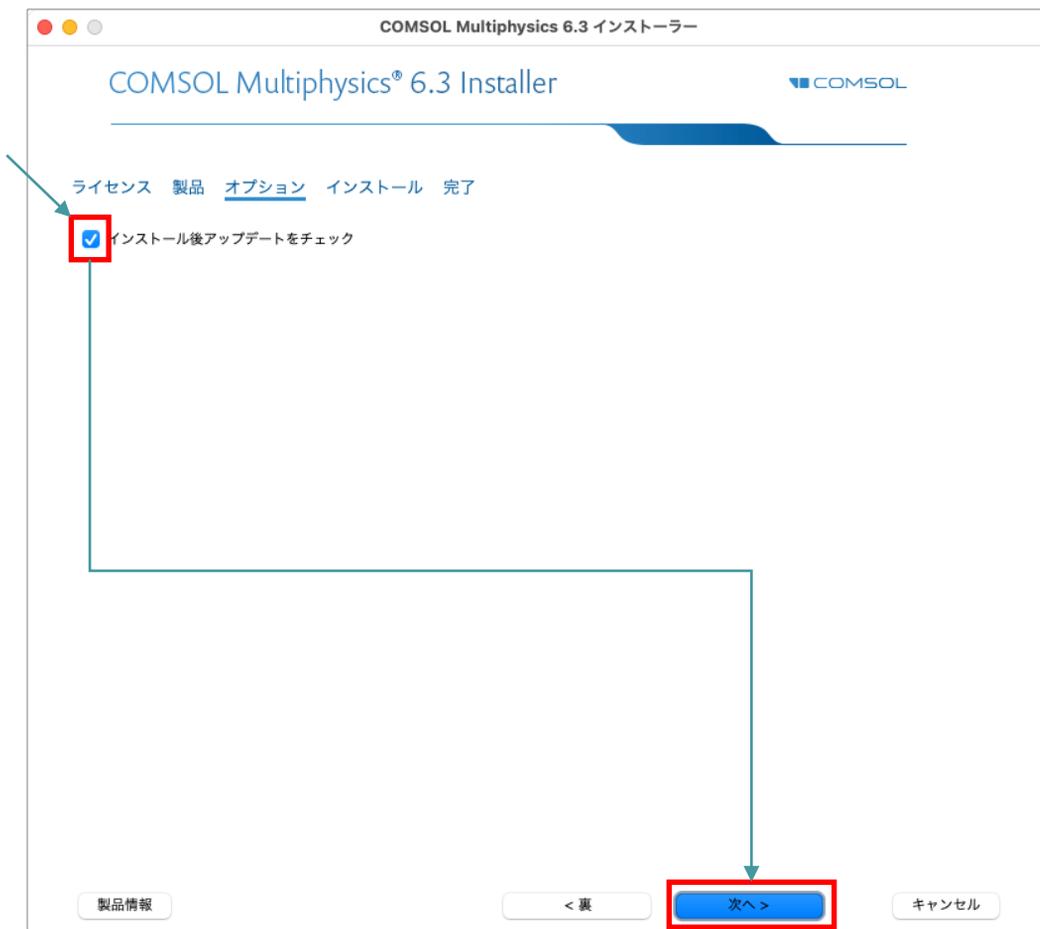


図2.2-2 “オプション”画面

⑥“インストール”画面で、下記操作を実行します。

・[インストール]ボタンをクリックします。

⇒インストールが開始します。

インストールが終了しますと、次の画面へ移行します。

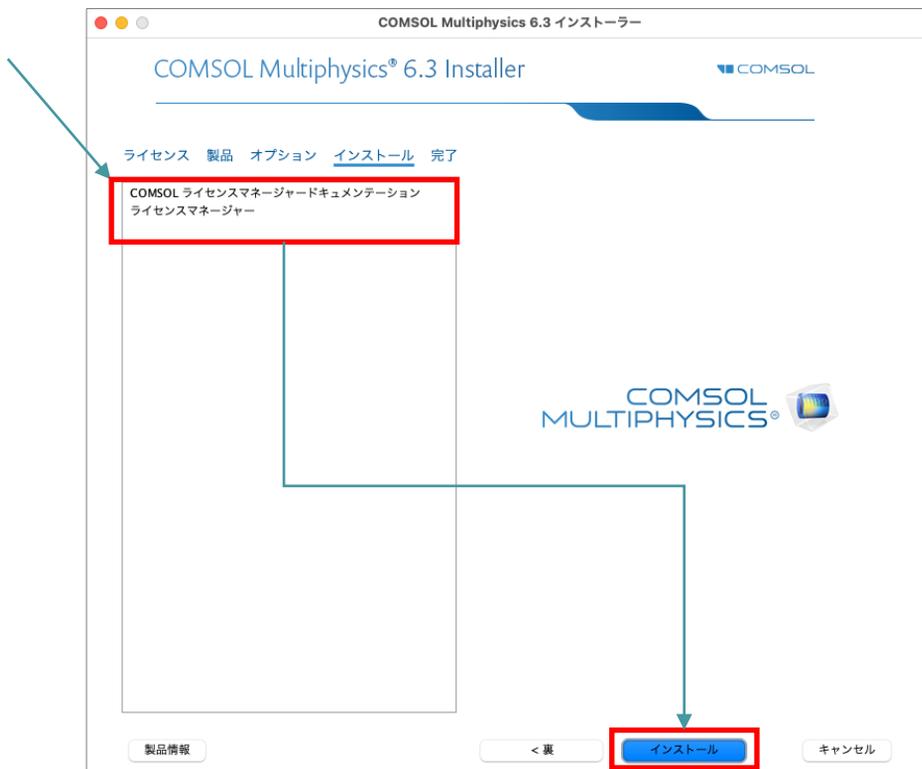


図2.2-4 “インストール”画面

⑦ “完了”画面で、下記操作を実行します。

- ・インストール中に発生したワーニングやエラーを確認するため、「ログを見る」ボタンをクリックします。
- ・ログに記載されている「WARNINGS」、「ERRORS」、「FATAL ERRORS」がゼロであることを確認します。
- ・ログの[閉じる]ボタンをクリックした後、インストーラの[閉じる]ボタンをクリックします。

⇒“COMSOL 6.3 インストーラ” が閉じます。



図2.2-5 “完了”画面

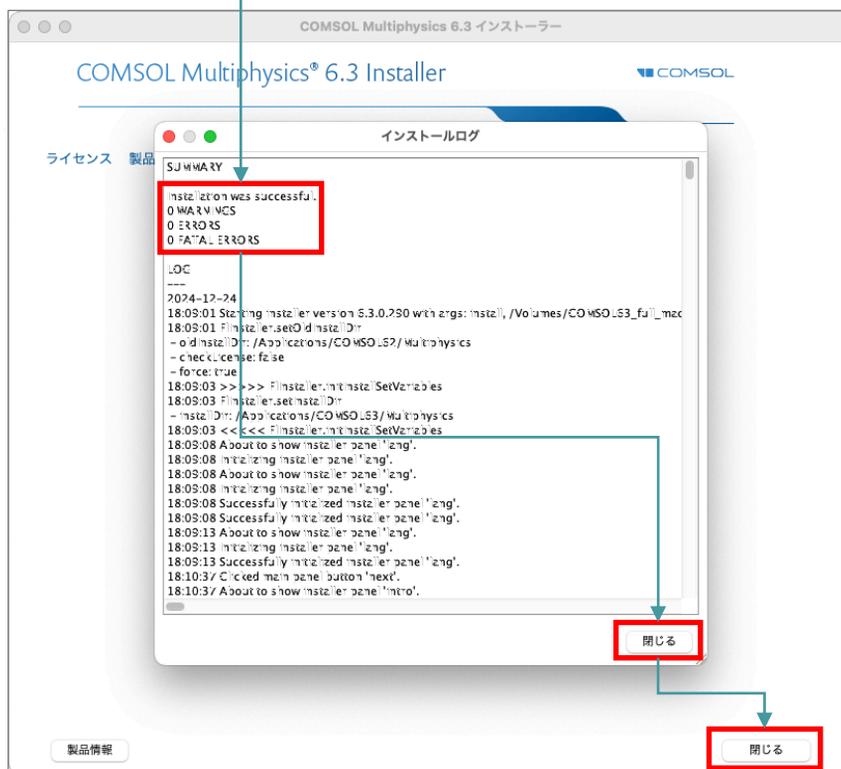


図2.2-6 “インストールログ”画面

## 2.3 ライセンスマネージャの設定、起動

ライセンスマネージャのインストール後、ライセンスマネージャの設定および起動が必要になります。インストール操作だけではライセンスマネージャは起動しません。

### 2.3.1 macOS<sup>®</sup>マシンでの起動

- ①ライセンスファイルをライセンスマネージャのデフォルトフォルダにコピーします。  
ターミナルを起動し、root権限で以下のように手動でフォルダを作ってコピーします。

```
cd /usr/local
sudo mkdir flexlm
cd flexlm
sudo mkdir licenses
cd /Applications/COMSOL63/Multiphysics/license/
sudo cp license.dat /usr/local/flexlm/licenses
```

- ①以下のように手動でライセンスマネージャを起動します。

```
cd /Applications/COMSOL63/Multiphysics/license/maci64
./lmgrd -c ../license.dat -l /var/tmp/comsol63.log
```

- ②psコマンドをキー入力し、lmgrdプロセスが表示されるかを確認します。表示されなければライセンスエラーですので“/var/tmp/comsol63.log”を添付の上、弊社サポート受付までご連絡ください。

- ③毎回手動でライセンスマネージャを起動させるのは非効率的なので、ブートスクリプトにライセンスマネージャを実行させる処理を追加します。これによりマシンを起動させるたびに、ライセンスマネージャが自動的に立ち上がるようになります。

ライセンスマネージャは①ではrootアカウントで実行していますが、通常rootアカウントで行うべきではないとされているので、そのための一般アカウント、例えばcomsolを作成します。

- ④com.comsol.lmcomsol.plistのファイルを/Library/LaunchDaemonsにコピーします。

```
sudo cp /Applications/COMSOL63/Multiphysics/license/maci64/com.comsol.lmcomsol.plist
/Library/LaunchDaemons/
```

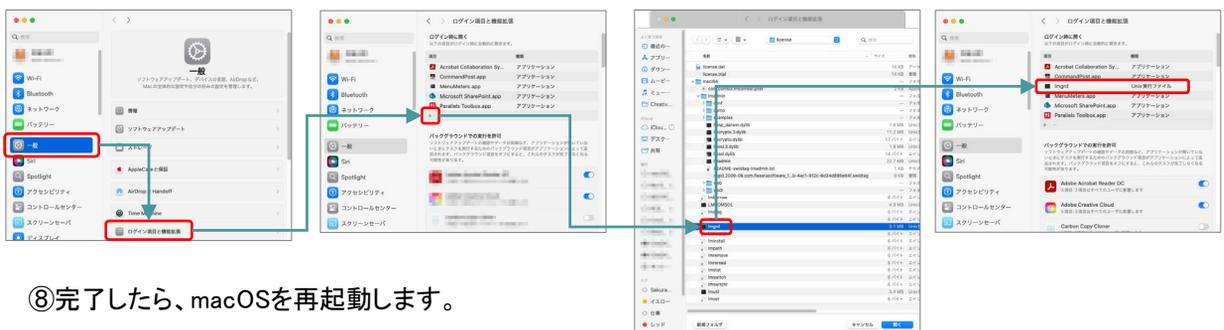
- ⑤ファイルの権限を変更します。

```
sudo chmod 644 /Library/LaunchDaemons/com.comsol.lmcomsol.plist
```

- ⑥デーモンを起動します。

```
sudo launchctl load /Library/LaunchDaemons/com.comsol.lmcomsol.plist
```

- ⑦macOSの「システム設定」を開き、[一般]→[ログイン項目と機能拡張]を選択→ログイン時に開くの[+ボタン]をクリック→[lmgrd]を選択→[OK]をクリック→「ログイン時に開く」に「lmgrd」が追加されたのを確認します。



- ⑧完了したら、macOSを再起動します。

## 2.4 ライセンスサーバマシンでのファイアウォールの例外登録

ライセンスサーバ以外のネットワーク各マシンからCOMSOL Multiphysics®を起動する際に留意する点の1つとして、ライセンスサーバマシンのファイアウォール設定があります。今回はそれについての対応方法を記述します。

### 【注意】

ファイアウォールの例外登録を行うと、登録されたプログラムの使用するポートが、外部からの通信を受け付けられるようになります。そのためセキュリティ上の危険性が高まります。

ファイアウォールの設定変更については、リスクなどもご確認のうえ、御社の責任において実施していただくようお願いいたします。

### 2.4.1 macOS®マシンでのファイアウォールの例外登録

macOS®のファイアウォールにて、下記のいずれか一方を実行します。  
弊社としては、より制限の厳しい、ポート番号の例外登録を推奨します。

- ・LMCOMSOLとImgrdをファイアウォールの例外に登録します。  
または
- ・TCP1718番ポートとTCP1719番ポートをファイアウォールの例外に登録します。

LMCOMSOLとImgrdは、それぞれ以下に存在します。

“/Applications/COMSOL63/Multiphysics/license/maci64/LMCOMSOL”

“/Applications/COMSOL63/Multiphysics/license/maci64/Imgrd”

– macOSで、ファイアウォール用受信規則を設定する方法

macOSの「システム設定」を開き、[ネットワーク]→[ファイアウォール]を選択→[オプション]ボタンをクリック→例外設定一覧の[+]ボタンをクリック→[LMCOMSOL]と[Imgrd]を選択→[OK]をクリック→「例外設定一覧」に[LMCOMSOL]と[Imgrd]が追加されたのを確認します。



### 2.4.2 macOS®マシンでのセキュリティソフトウェアのファイアウォールの例外登録

macOS®マシンでセキュリティソフトをご利用の場合、セキュリティソフトのファイアウォールにも、macOS®のファイアウォール例外設定と同様の例外設定を実行します。

設定手順はご利用のセキュリティソフトのヘルプや説明に従ってください。

## 2.5 ライセンスサーバ以外のマシンへのCOMSOL Multiphysics®インストール

FNLやCKLのライセンスサーバ以外のネットワーク各マシンへのインストールは、ライセンスマネージャのインストール時に使用した license.datを参照し、CPU固定シングルユーザライセンス(CPU)と同様の手順でインストールします。

「[1. CPU固定シングルユーザライセンス\(CPU\)のインストール](#)」をご覧ください。

⑤“ライセンス画面”ではライセンスファイル指定の代わりに、下記のように<ポート番号>@<ホスト名>で設定することも可能です。弊社としてはメンテナンス上の観点から、こちらの手法を推奨します。

・弊社から送付した license.datをメモ帳などで開き、5行目のSERVER行を確認します。

例) SERVER licserver 0123456789AB 1718

・“ライセンス書式”ドロップダウンリストから“<ポート番号>@<ホスト名>”を選択します。

・“ポート番号”に、license.datのSERVER行の4番目の項目を入力します。

例) “1718”と入力します。

・“ホスト名”に、同じくSERVER行の2番目の項目を入力します。

例) “licserver”と入力します。

・[次へ >]ボタンをクリックします。

⇒ 次の画面へ移行します。



図2.5-1 “ライセンス”画面

## 3. トライアルライセンスのインストール

### 3.1 PCへのCOMSOL Multiphysics®インストール

トライアルライセンスのインストールは、CPU固定シングルユーザライセンス(CPU)のインストールにおいて、“ライセンス”画面での設定をパスワードとする点以外は全く同一の操作です。

#### 3.1.1 macOS®マシンへのインストール

##### (1) COMSOLのウェブサイトよりオンラインでインストールする場合

- ①root権限を持つアカウントでログインします。
- ②ライセンスファイル発行時のメールに記載してある下記リンクより、インストーラの dmgファイルをダウンロードします。

<https://www.comsol.jp/product-download>

- ③dmgファイルを起動し、Finderにて COMSOL 6.3 Installer.app をダブルクリックします。

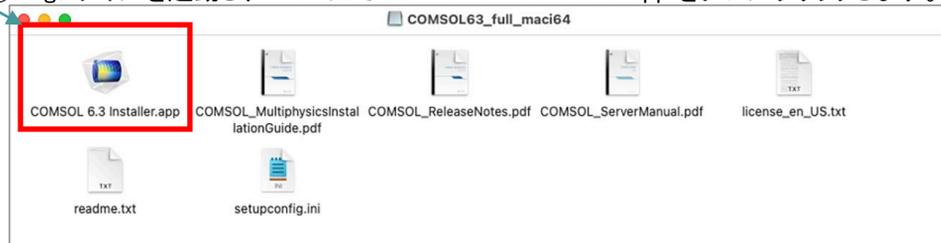


図3.1-1 Finder画面

インストーラ初期画面が起動しましたら、次ページの④に進みます。

【参考】COMSOLの起動確認をします。グラフィックスボードやチップが古いと、COMSOL Desktop®(GUI)がうまく立ち上がらないことがあります。その場合は、起動時のオプションとして `-3drend sw` を付けてください。

##### (2) DVDからインストールする場合

- ①root権限を持つアカウントでログインします。
- ②DVDをマウントします。
- ③DVDの中のファイル名 `setup` をダブルクリックします。

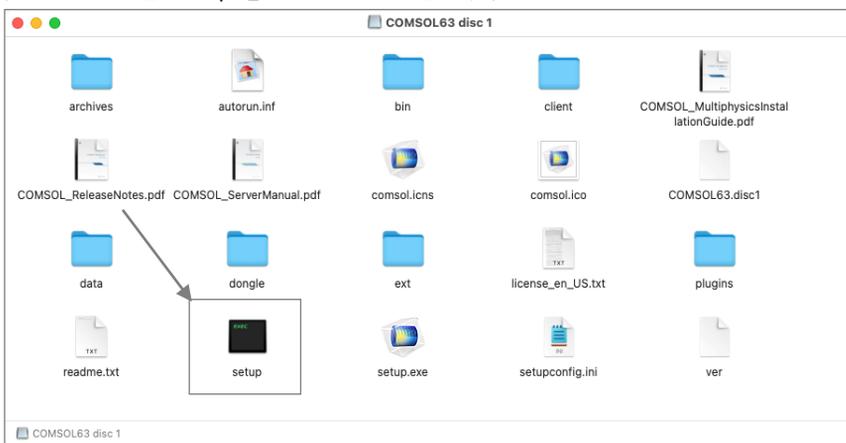


図3.1-2 Finder画面

インストーラ初期画面が起動しましたら、次ページの④に進みます。

【参考】COMSOLの起動確認をします。グラフィックスボードやチップが古いと、COMSOL Desktop®(GUI)がうまく立ち上がらないことがあります。その場合は、起動時のオプションとして `-3drend sw` を付けてください。

- ④言語選択画面で、下記操作を実行します。
- ・“日本語 (Japanese)” ラジオボタンをオンにします。
  - ・[次へ >]ボタンをクリックします。
- ⇒ 次の画面へ移行します。

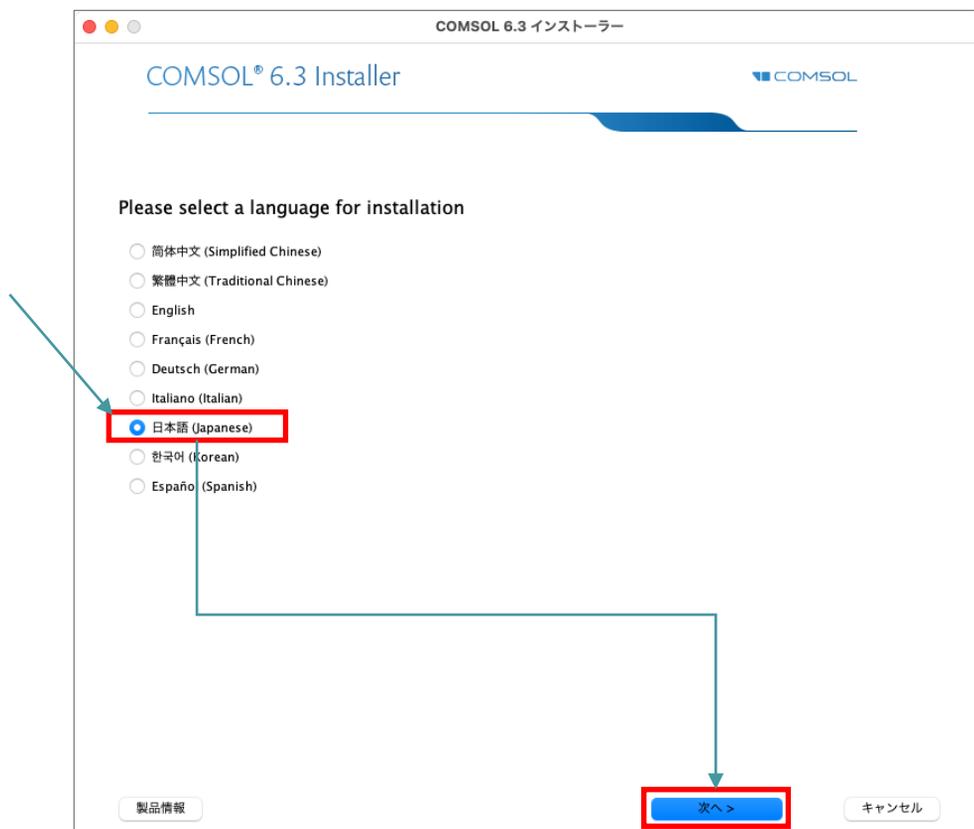


図3.1-3 言語選択画面

- ⑤メニュー画面で、下記操作を実行します。
- ・“新規 COMSOL 6.3インストール”のアイコン をクリックします。  
⇒次の画面へ移行します。



図3.1-4 メニュー画面

## ⑥ “ライセンス”画面で、下記操作を実行します。

- ・“私はこのライセンス契約の条項に同意し、これを受け入れることで他の全ての条項が拒否されることを理解し認めます”のラジオボタンをオンにします。
- ・“ライセンス書式”ドロップダウンリストから“パスコード”を選択します。
- ・“パスコード”エディットボックスに、弊社からお送りしたパスコードを入力します。  
(コピー＆ペーストを行う場合は半角スペースが混入しないよう注意して下さい。)
- ・[次へ >]ボタンをクリックします。

⇒ 次の画面へ移行します。

もしこの段階でエラーが表示されましたら、弊社サポート窓口までご連絡ください。



図3.1-5 “ライセンス”画面

## ⑦ “製品”画面で、下記操作を実行します。

- ・ご購入いただいたライセンスに基づいて、インストール可能なモジュールが表示されます。特に必要がないので、通常のクイック選択を含めてこのままにします。
- ・“インストール先フォルダ”は初期設定では“/Applications/COMSOL63/Multiphysics”になっています。必要に応じて [ブラウズ...] ボタンをクリックし、インストール先を変更してください。
- ・[次へ >] ボタンをクリックします。

⇒ 次の画面へ移行します。

これ以後の手順は、「1.1.1 macOS®マシンへのインストール」の⑦～⑪と同様です。



図3.1-6 “Products”画面

## 【注意】“インストール先フォルダ”

- ・“インストール先フォルダ”のパスに英数字以外の2バイト文字コードが含まれていると、インストールできない可能性があります。そのため2バイト文字コードが含まれないように、フォルダを変更してください。
- ・インストールに必要なディスク容量とインストール先ディスク空き容量が表示されます。前者が後者を上回りますと、[次へ]をクリックした時にエラーが出て処理が継続できません。その際は“インストール先フォルダ”の[ブラウズ...]ボタンをクリックし、別ドライブのフォルダを選択してください。

## 4. アンインストール、ライセンス変更、製品の追加/削除/復元

## 4.1 アンインストール

## 4.1.1 macOS®マシンでのアンインストール

- ①root権限を持つアカウントでログインします。
- ②Finderで「アプリケーション」→「COMSOL 63」→「Multiphysics」を開き、“COMSOL Setup.app”を起動します。(図4.1-1)  
⇒ “COMSOL 6.3 インストーラ”が起動し、言語選択画面が表示されます。

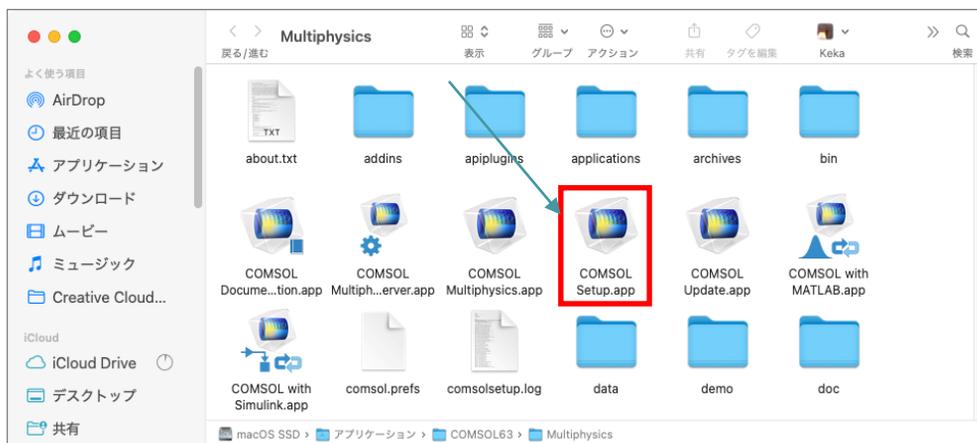


図4.1-1 Finder画面

- ③ 言語選択画面で、下記操作を実行します。(図4.1-2)
  - ・「日本語 (Japanese)” ラジオボタンをオンにします。
  - ・[次へ >]ボタンをクリックします。
 ⇒ 次の画面へ移行します。

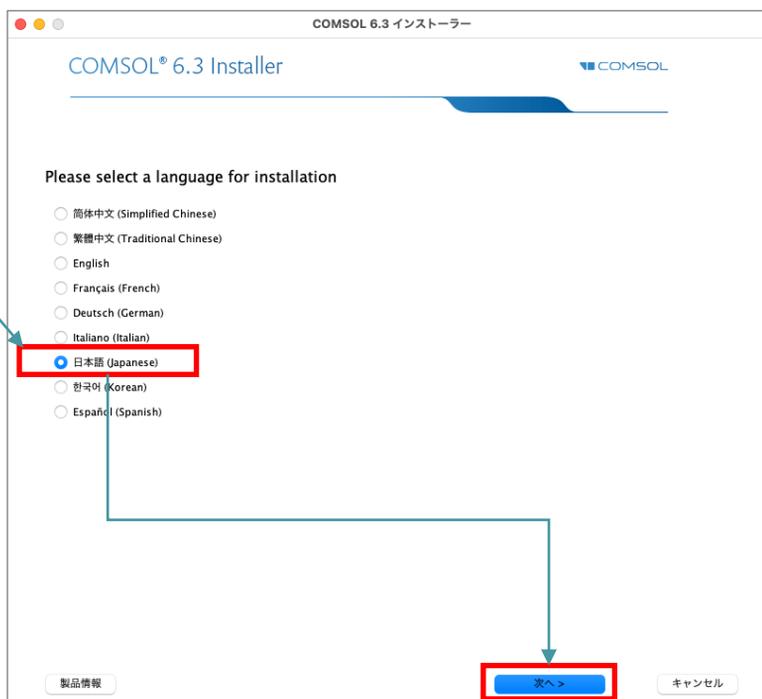


図4.1-2 言語選択画面

- ④ メニュー画面で、下記操作を実行します。(図4.1-3)
- ・ “アンインストール COMSOL 6.3”のアイコンをクリックします。  
⇒次の画面へ移行します。



図4.1-3 メニュー画面

⑤ “アンインストール”画面で、下記操作を実行します。(図4.1-4)

・[アンインストール]ボタンをクリックします。

⇒アンインストールが実行されます。

アンインストールが終了すると、次の画面へ移行します。

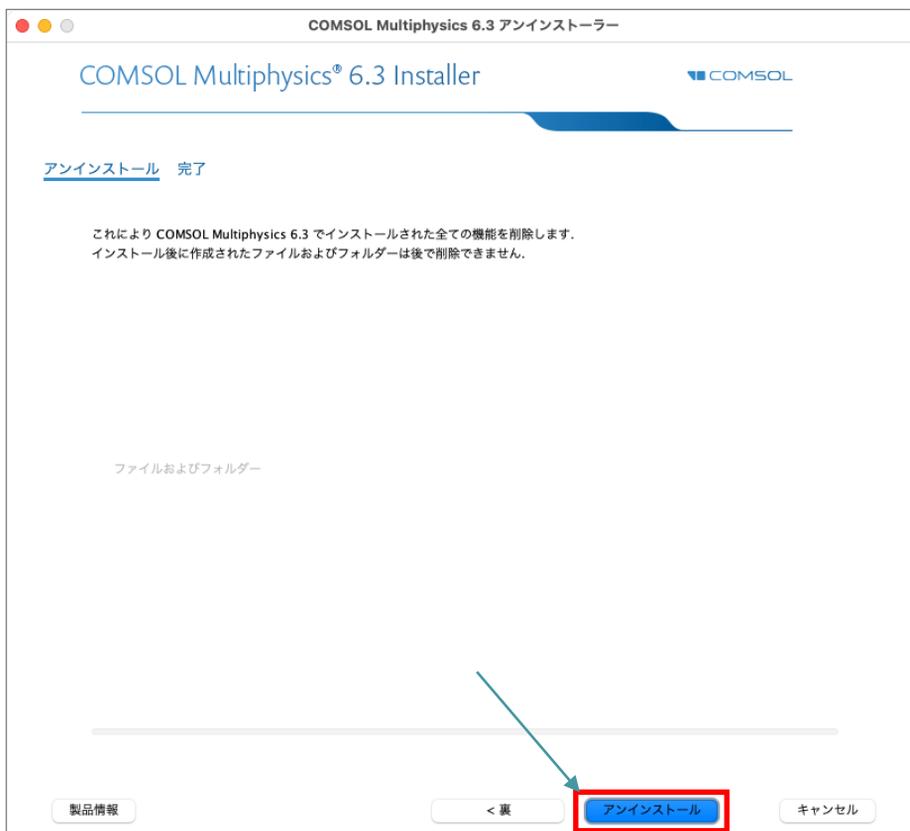


図4.1-4 “アンインストール”画面

- ⑥ “完了”画面で、下記操作を実行します。(図4.1-5)
- ・アンインストールが成功したことを確認します。
  - ・[閉じる]ボタンをクリックします。
- ⇒“COMSOL 6.3 インストーラ”が閉じます。

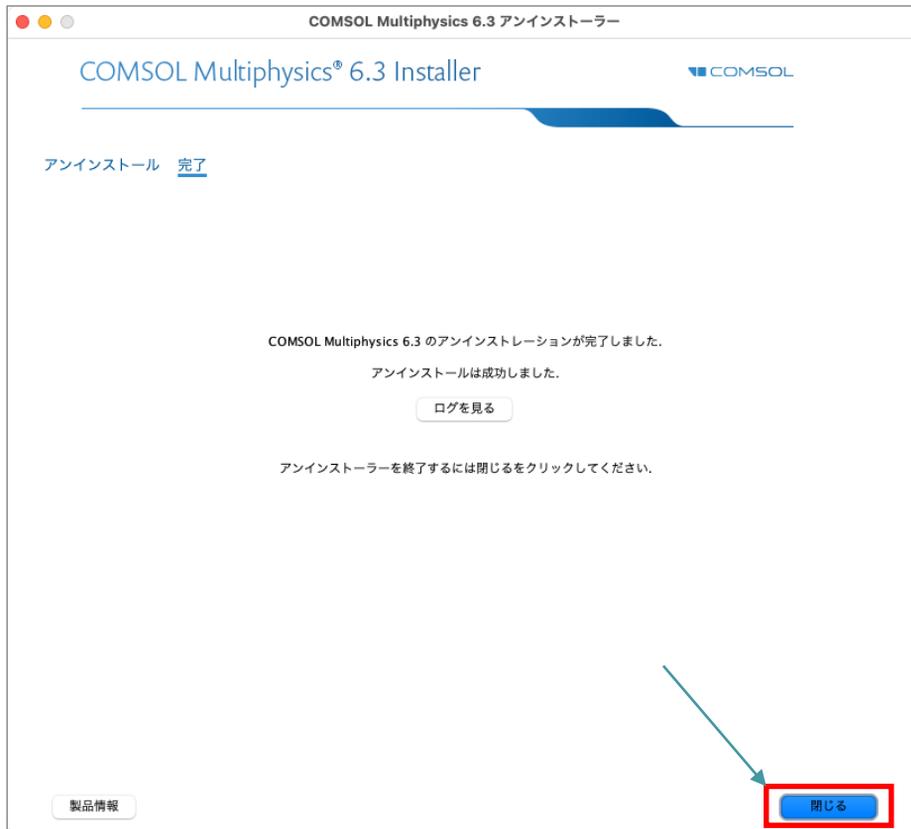


図4.1-5 “完了”画面

## 4.2 ライセンスの変更

モジュール追加のために新しいライセンスファイルが発行された場合や、トライアルライセンスが延長された場合などに、ライセンスの変更を実施します。

### 4.2.1 macOS<sup>®</sup>マシンでのライセンス変更

- ①root権限を持つアカウントでログインします。
- ②Finderで「アプリケーション」→「COMSOL 63」→「Multiphysics」を開き、“COMSOL Setup”を起動します。  
⇒ “COMSOL 6.3 インストーラ”が起動し、言語選択画面が表示されます。

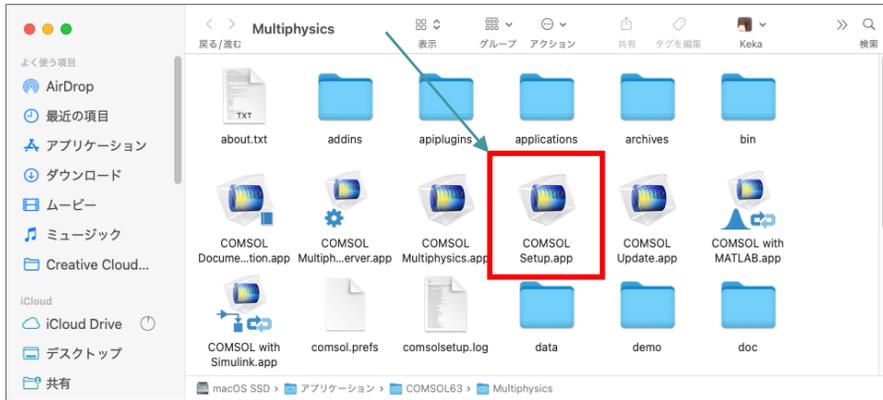


図4.2-1 Finder画面

- ③ 言語選択画面で、下記操作を実行します。
  - ・“日本語 (Japanese)” ラジオボタンをオンにします。
  - ・[次へ >]ボタンをクリックします。
 ⇒ 次の画面へ移行します。

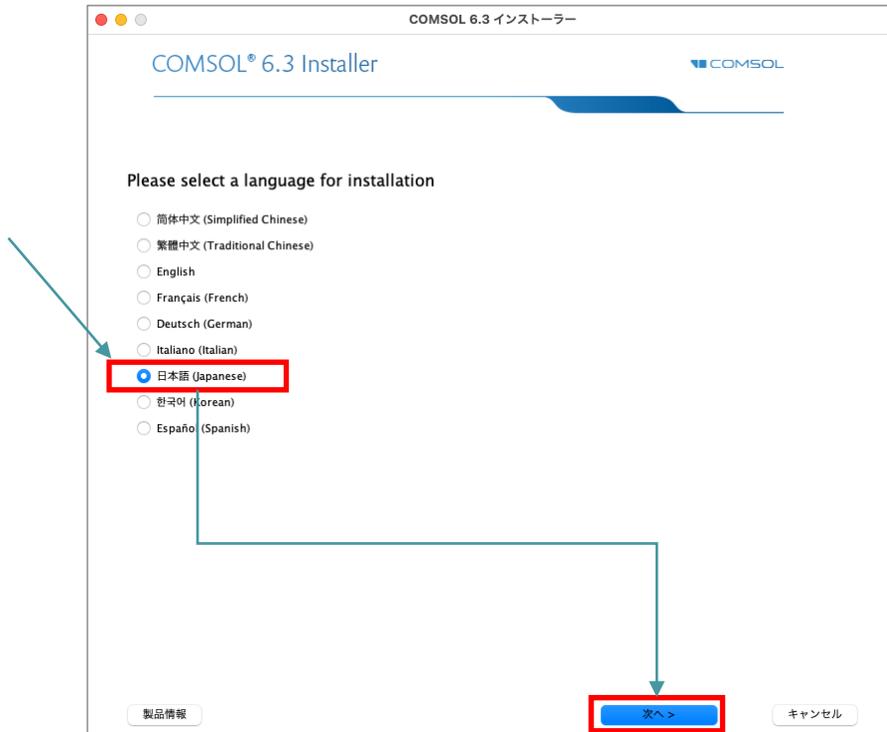


図4.2-2言語設定画面

- ④メニュー画面で、下記操作を実行します。
- ・“ライセンスを変更”のアイコンをクリックします。
- ⇒次の画面へ移行します。



図4.2-3 メニュー画面

## ⑤ “ライセンス”画面で、下記操作を実行します。

- ・ “私はこのライセンス契約の条項に同意し、これを受け入れることで他の全ての条項が拒否されることを理解し認めます” ラジオボタンをオンにします。

## 【正規ライセンスの場合】

- ・ “ライセンス書式”ドロップダウンリストから “ライセンスファイル”を選択します。
- ・ “ライセンスファイル”の[閲覧...]ボタンをクリックし、新しい license.datファイルを選択します。

## 【トライアルライセンスの場合】

- ・ “ライセンス書式”ドロップダウンリストから “パスコード”を選択します。
- ・ “パスコード”エディットボックスに、新しいパスコードをキー入力します。

- ・ [次へ >]ボタンをクリックします。

⇒ 次の画面へ移行します。

## 【トライアルライセンスの場合】



図4.2-4 “ライセンス”画面

- ⑥これ以降は、「1. 1. 1 macOS®マシンへのインストール」の⑥～⑪と手順は同じですので、そちらに従って作業を実行してください。

### 4.3 製品の追加/削除/復元

例えば、ディスクスペース節約などのためにインストールしなかった製品を新しくインストールしたり、うっかり上書き保存してしまったアプリケーションライブラリを修復したりするような場合に、本章の内容を実行します。

#### 4.3.1 macOS®マシンでの製品の追加/削除/復元

- ①root権限を持つアカウントでログインします。
  - ②Finderで「アプリケーション」→「COMSOL 63」→「Multiphysics」を開き、“COMSOL Setup.app”を起動します。
- ⇒ “COMSOL 6.3 インストーラ”が起動し、言語選択画面が表示されます。

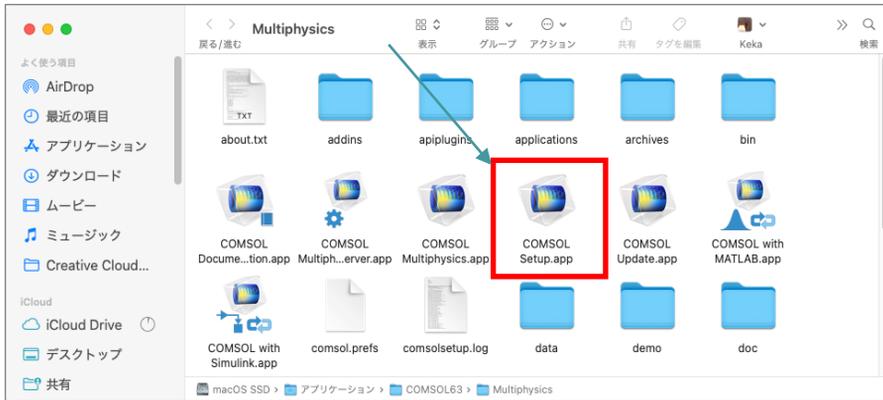


図4.3-1 Finder画面

- ③ 言語選択画面で、下記操作を実行します。
  - ・“日本語 (Japanese)” ラジオボタンをオンにします。
  - ・[次へ >]ボタンをクリックします。
 ⇒ 次の画面へ移行します。

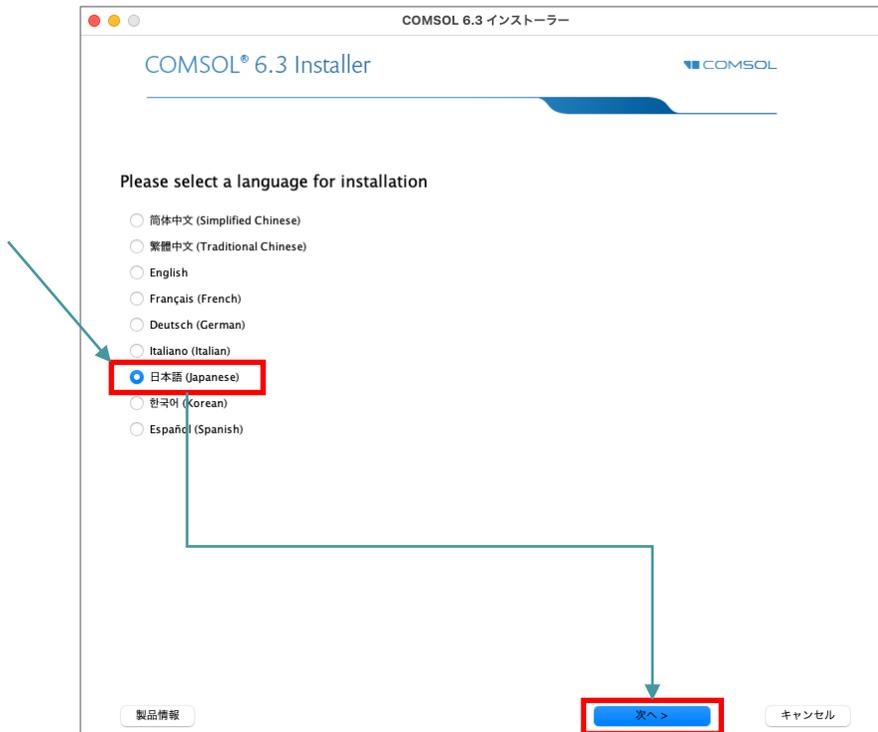


図4.3-2 言語設定画面

- ④メニュー画面で、下記操作を実行します。
- ・“製品を追加/削除して再インストール”のアイコンをクリックします。
- ⇒次の画面へ移行します。

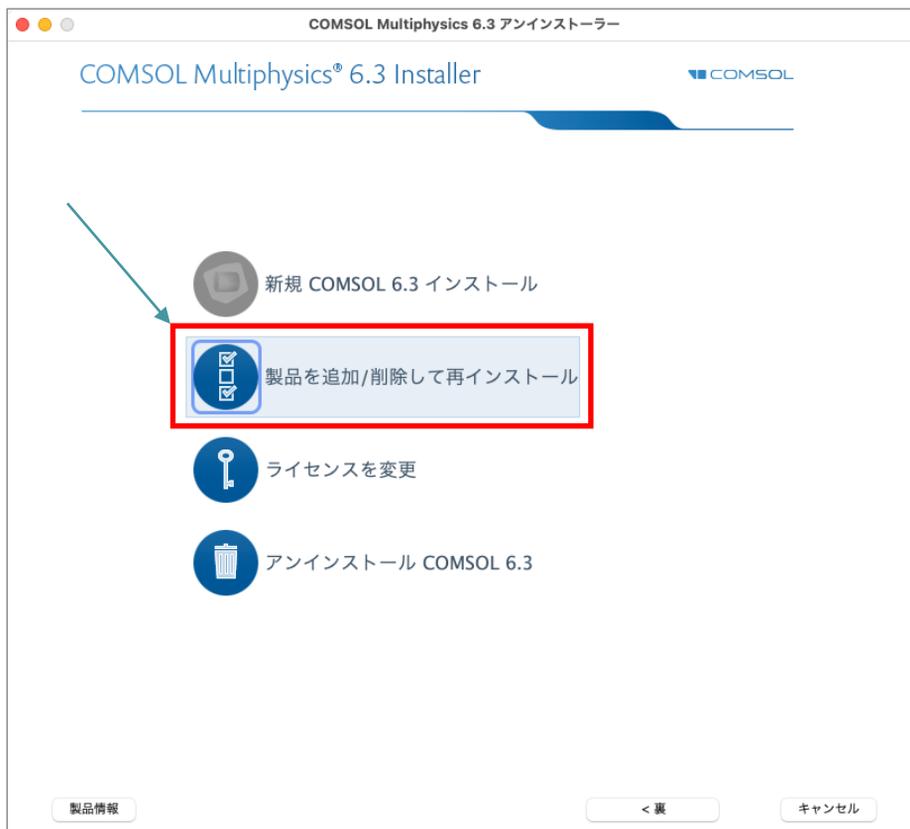


図4.3-2 メニュー画面

## ⑤ “製品”画面で、下記操作を実行します。

- ・必要に応じて、インストールしていない製品のチェックボックスをオンにします。
  - ・必要に応じて、“選択された製品とインストール済みの製品を再インストールしてください”チェックボックスをオンにします。
  - ・[次へ >]ボタンをクリックします。
- ⇒次の画面へ移行します。



図4.3-3 “Products”画面

⑥ “ソース”画面で下記操作を実行します。

- ・新しい機能をインストールする元をインターネットかローカルのDVDかを選択します。ローカルDVDを選択した場合、「ブラウズ...」ボタンをクリックしてファイルパスを指定します。
- ・[次へ >]ボタンをクリックします。  
⇒次の画面へ移行します。



図4.3-4 “ソース”画面

⑥ “オプション”画面で下記操作を実行します。

・Java™のランタイムインストールに関して、既に設定が済んでいるのであればチェックを外してもかまいません。

・[次へ >]ボタンをクリックします。

⇒次の画面へ移行します。



図4.3-5 “オプション”画面

- ⑦ “LiveLink”画面で下記操作を実行します。
- ・LiveLink™設定はここで各製品のルートフォルダを指定します。
  - ・[次へ >]ボタンをクリックします。
- ⇒次の画面へ移行します。

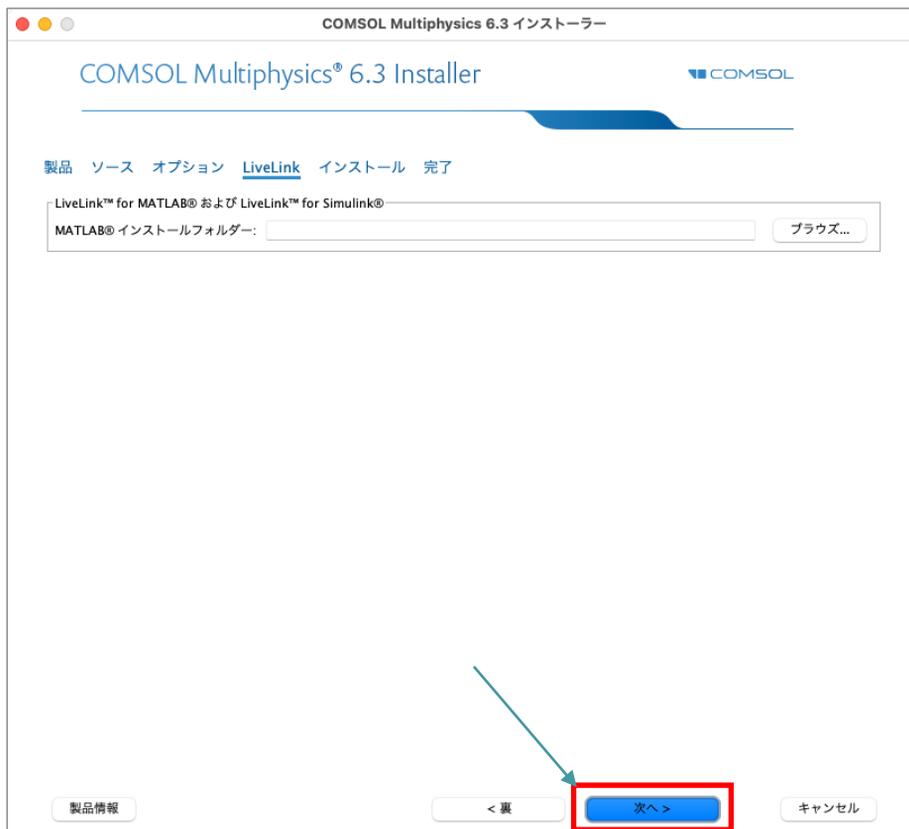


図4.3-6 “LiveLink”画面

- ⑧ “インストール”画面で下記操作を実行します。
- ・ [インストール]ボタンをクリックします。
- ⇒インストールが開始します。  
インストールが終了しますと、次の画面へ移行します。

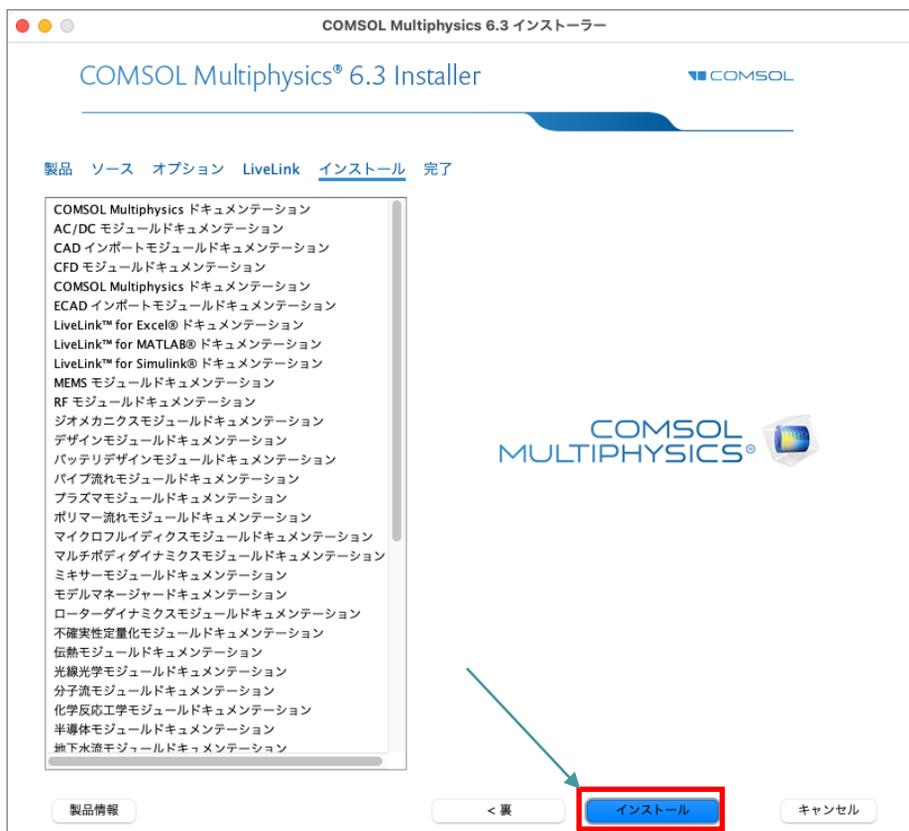


図4.3-7 “インストール”画面

⑨“完了”画面で、下記操作を実行します。

- ・インストール中に発生したワーニングやエラーを確認するため、「ログを見る」ボタンをクリックします。
- ・ログに記載されている「WARNINGS」、「ERRORS」、「FATAL ERRORS」がゼロであることを確認します。
- ・ログの[閉じる]ボタンをクリックした後、インストーラの[閉じる]ボタンをクリックします。

⇒“COMSOL 6.3 インストーラ” が閉じます。



図4.3-8 “完了”画面

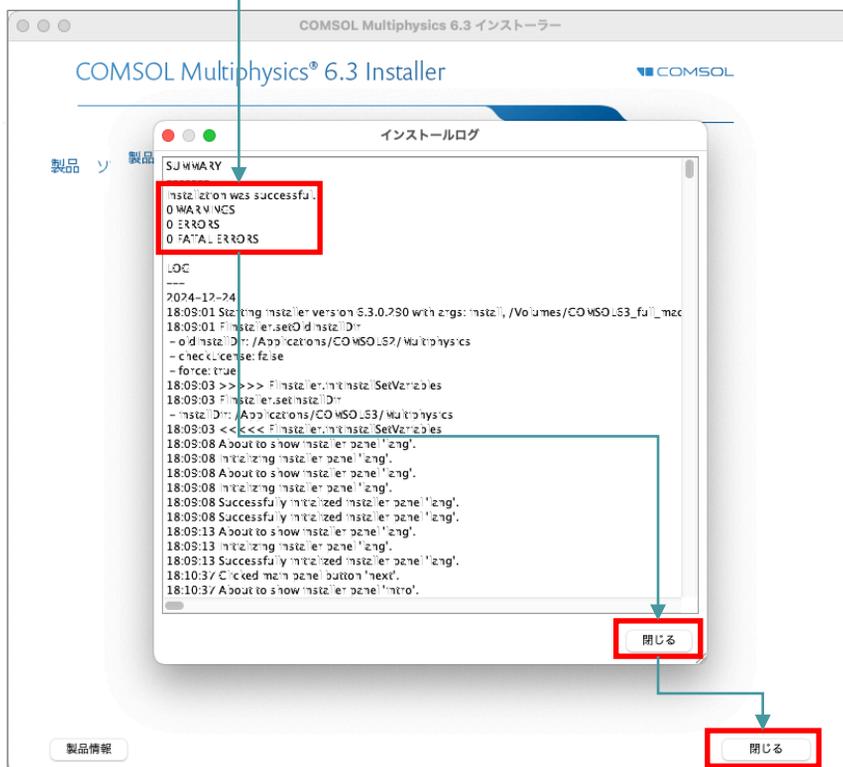


図4.3-9 “インストールログ”画面

## ～情報源の紹介～

KESCOサポート窓口 & FAQ

<https://kesco.co.jp/supportlist/>

KESCO セミナー

<https://kesco.co.jp/seminar/>

製品ダウンロード

<https://www.comsol.jp/product-download>

製品アップデート

<https://www.comsol.jp/product-update>

動作環境

<https://www.comsol.jp/system-requirements>

Installation Guide

[https://www.comsol.jp/documentation/6.3/COMSOL\\_MultiphysicsInstallationGuide.pdf](https://www.comsol.jp/documentation/6.3/COMSOL_MultiphysicsInstallationGuide.pdf)

ビデオギャラリー (Installでソート)

<https://www.comsol.jp/videos?workflow%5B%5D=workflowstep-install>



# COMSOL Multiphysics® クイックインストールガイド

## macOS®版 (Version 6.3)

---

2025年 1月 17日 初版発行

著作発行：計測エンジニアリングシステム株式会社

Printed in Japan

---

ソフトウェアはライセンスの同意条項のもとでのみ使用またはバックアップが許可されます。  
本書の一部または全部を著作権法の定める範囲を越え、無断で複写、複製、転載することを禁じます。



<https://www.comsol.com/>



計測エンジニアリングシステム株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-9-5 SF内神田ビル

TEL: 03-5282-7040/FAX: 03-5282-0808

URL: <https://www.kesco.co.jp>

E-mail: [support@kesco.co.jp](mailto:support@kesco.co.jp)